

令和5年度第3回「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」概要

日 時	令和5年12月23日（土）10：00～11：30
場 所	中央公民館 203・204
テーマ	知っていますか？たからづか食育推進計画～家庭や学校給食での食育について
出席者	市民14名 山崎市長、健康福祉部職員4名、教育員会職員3名、市民交流部職員5名

1 開会

- (1) 市長挨拶
- (2) 本日の流れについての説明

2 市民と市長との意見交換

- (1) 健康推進課及び学校給食課によるテーマの説明（30分程度）
- (2) 意見交換

ア 【司会】本日のテーマである「知っていますか？宝塚食育推進計画～家庭や学校（給食）での食育について」ご意見をいただきたい。

イ 給食の食品ロスに関して、ロスを減らすための工夫はどのように対応されているか。実際PTAで話を聞くと、特に牛乳が嫌いな子も多い。牛乳が大好きな息子には牛乳がたくさん回ってきて、「1日で牛乳を6本くらい飲んでいる」という話を聞いた。それは健康的にどうなのかと思ったことがあった。子どもに給食の話を聞くと、「今日はみんなおかわりしなかった」という日もある。給食ロスになった場合、学校として市として、どのような工夫をされているのか、どのような処理をしているのかをお伺いしたい。

ウ 【学校給食課】給食のロスについては、衛生上の問題があるため持ち帰りは難しい。給食指導の面で、配膳された量では少し物足りない子については「おかわりしたい子」という形で先生が声かけをし、再度配膳している。栄養教諭が献立を作る際には、少し残量が多かったメニューについてはできる限り食べやすいよう、子どもたちからもらっている所感を基に、改善を検討している。

エ 【市長】聞いたところでは、各クラスによって、こういうものは良く食べる、こういうものは残る、という際には、給食調理員がこのクラスは少し塩多めする等、微妙に変え、みんながおいしく食べられる工夫をしてくれているようだ。そのため、ロスは多くないと聞いている。初めて出てきた食材については、最初は手が付けにくいのが、2回3回と給食に出てくるうちに美味しいと気が付き、みんなしっかり食べられるようになって聞いている。

- オ 私も同じく食の根本は家庭にあると思う。その前提で有機農業や有機給食の活動をしている。宝塚市の給食は聞けば聞くほど、家庭料理に近いことをされていて感謝している。意見や大きく求めることは正直ない。ただ、人の体は食でできている。食は自然からの恩恵でいただいているため、環境に配慮した食材を使用することで、地球規模で人の健康が良くなっていく。最後は病院にかかる人が少なくなっていくのではと個人的には思う。仕事では食の相談をやっている。今、高校生、中学生、小学生の子どもがいるが、上の2人が中学生になった際、朝ご飯を食べる時間がないため、手軽に食べられるパンに変えた時期があった。そうすると寝起きが悪くなり、学力が低下した。上の子が受験生になった際に、ごはんに変えてみた。そこから集中力もついた。毎朝ごはんのみそ汁と少しのおかずだが、病院にもかからない健康な体を維持している。小さなエビデンスだが、子どもたちの給食が全て米飯になれば、子どもたちの健康を維持できるもしくはもっと向上につながると思う。やはり素晴らしい給食に期待はしてしまう。どの家庭でも、家庭で食育が出来たら良いが、そうでない子どもたちが僅かでもいるのであれば、やはり1日3食のうちの1食でも安全でおいしい給食、健康な給食を食べてもらいたい。9年間で少しでも体づくりが出来て、給食に助けられると思う。その点で有機給食や有機農業を推進している。給食には9憶という大きなお金が使われており、それが循環していけば、大きな視野、社会全体の循環として機能するのではないかと思っている。
- カ 【市長】給食にはごはんの日とパンの日がある。私たちはごはんの日を増やそうという方向性で頑張っている。これは余談かもしれないが、去年技能功労者表彰があった。宝塚市内で自分の技術を持って仕事をして、技を極めた人を表彰する制度である。その表彰で、学校給食のパンを焼いている方がいた。その方が受賞の挨拶をされた際、「自分はただただ子どもたちのためにパンを焼いていただけ。美味しく食べてくれる子どもたちの顔を見たら、休みが無くてもただただパンを焼いていた」と仰っていた。子どもたちがパンを食べてくれることがすごくモチベーションになり仕事をされ、感動した。いずれはお米の日が増えていくとは思っている。先ほど循環という話があったが、宝塚市は「銀座ミツバチプロジェクト」と包括連携協定を結んでいる。始まりは銀座のビルの上で植物を育て、そこにミツバチを置き、はちみつをとる。他にも芋等も植え焼酎を作っている。ミツバチは環境指標生物といって、環境が良いところにしかいない。その取組をホテル若水にある喫茶店の外側にミツバチの巣箱を置いて実施している。日本ミツバチと西洋ミツバチがあり、ホテル若水には日本ミツバチを置いている。日本ミツバチはこちらが攻撃しない限り、攻撃してくることはない。だから安全。ホテル若水にミツバチがいるということは、宝塚全体の環境が良く、そこで取ったはちみつをホテル若水のスイーツで提供しようという取組をしている。環境にも良い宝塚を目指している。
- キ 良い点は維持し、問題点は良いものを取り入れたりアップデートしたりしていただき

たい。アンケートを取るといいのは良いと思った。180回の給食は、年間の食事回数の6分の1をまかなっているということだった。文科省が2009年に米飯給食を週3回以上にするよう方針を出している。既に週3回実施している自治体は、週4回に、となっている。宝塚は米飯給食が週3回。先ほど米飯を増やしていこうとのことだったが、気になったのは週2回のパン。そのパンが輸入の小麦で、他国では禁止されているものが使われていることはないか。近隣の西宮市は週3回米飯、週2回国産小麦。川西市は週5回米飯。猪名川町は週5回米飯。三田市は週4回米飯。他の市町は米飯を増やしている。子どもたちは美味しいと思うかどうかで判断する。安全か安全でないかは子どもたちには選択肢がない。意思がなく、出たものをそのまま食べている。高校3年生の娘と給食の話をしてきた。他国で禁止されている輸入小麦を使用したパンだった場合、先ほどパンを作られている方の話があったとしても、娘は「食べたくなかった」と言っている。子どもの安全を考え材料に安全なものを使っていただく方法があるのでは。米飯であれば、給食費の10%程度だが、パンや麺の場合、給食費の15~17%だと調べた。高くなるうえに、安全ではないのであれば、米飯はすごく良いと思った。質問は、米飯はいつから増えるのか。

- ク 【管理部長】米飯給食を増やしていくため、昭和56年から週2回実施している。平成19年に週3回になった。そこからなかなか4回目にいかない。細かい話になるが、パン業者は過去には宝塚市内で8社あった。淘汰され現在は1社。この1社が川西市や猪名川町にも納品している。言い換えると、川西市や猪名川町にはパン業者が無い。このパン業者の経営が維持できているのは、宝塚市が週2回パン給食を実施しているから。これをもし1回減らすと、パン業者の経営が成り立たなくなる。パン給食が2回から1回ではなく、2回から0になり、パン給食が実施できなくなる。川西市や猪名川町にも影響が出てくる。これが米飯給食を3回から4回にすることが難しくなっている理由。他市町との関係性の実態もある。ただ、他市町と協議をしながら、パン給食の日を上手く連携しながら決めていけば、自治体のパン給食の回数が減っても、経営が成り立っていける、パンを納品していただけるだろうと、そのような調整にも少し時間を要しているところである。それから、今まではパンという製品が入っていたため、給食室での調理工程が無かった。米飯になると更に調理工程が増えることから、調理員の配置の見直しも必要になってくる。宝塚市の給食は自校直営。全ての学校に市職員として調理員が配置されているため、コストがかかっている。そこも一定整理が必要になる。そのような事情で週3回から4回に進みにくい。5回時々パンという、4回を飛び越した回数設定になってくると思う。そうした中でパン給食を続けているが、国が禁止している材料については使用していない。特に兵庫県の場合は、兵庫県給食食育支援センターという食材を取りまとめて管理している団体がある。加工品もそこで買うと、一般的に使われているがあまり使わない方が良くとされているものを排除した製品が入ってくる。そこがもう一度検査したものが給食の小麦として使われ、それぞれのパン業者に

配送されていく。そのため、兵庫県は特に安全に配慮したものを入れている。価格の問題は、以前は業者に米を炊いてもらっていたため高かったが、今は自校炊飯になっているので安くなった。パンの方が少し値段高くなっている。課題を早く整理しながら米飯給食 5 回実施にすると給食の価格も下がる。他の食材に充実して使えるようになるため、調整も含めて急いで進めていきたい。

- ケ 所属している保育所も自校で調理している。野菜嫌いのお子様が多いと思うが、うちの園では、子どもたちが小松菜を植えたり、ホウレンソウを植えたりしている。コーヒーマルックピッチャーで水やりをしている。双葉が出てきたら大きなプランターに入れ替えてじょうろで水やりをする。それを 1 歳児 2 歳児がやっている。すごくかわいい。子どもたちもわくわくしながら育てる。外のプランターに出す際に作業が必要だが、子どもたちが自分たちで収穫して給食室の先生に「お願いします」と持って行く。給食の先生が少しの量だが調理し、給食にプラスアルファで提供する。自分たちが育てた野菜のため、日ごろは好きではない緑系の野菜もどれよりも先に食べる。「めっちゃおいしい」と言う。これはとても食育に繋がっていると思っている。自分で育てることは大切。自分たちが育てた小松菜と同じものが味噌汁に入っているな、ということが学べる。小学校では難しいと思うが、朝顔の種を育てていると思うので、それを小松菜に変えるのは可能ではないかと思っている。小松菜を育てるのはとても簡単。上手く大人がサポートすれば、小さなプランターで十分育つ。それが食育につながったりする。緑系の野菜が嫌いなお子様にも良いかと思う。他に園で実施していることは、給食室の前に野菜を置いている。人参、ジャガイモ、かぼちゃなど。それを子どもたちが自分の好きな野菜を取ってきて皮を剥く。玉ねぎの皮だと 1 歳児でも 3 本の指で剥ける。ぴりぴりぴりと剥けるのが楽しい。剥くと白くなるが、もっと剥きたい子は手を入れてさらに剥く。そうすると目に染みるため、もう終わりだと気づく。人参はピーラーで剥く。そういうことをしていると、給食室の先生が調理したのもでも、自分が剥いたものが提供されると、「僕が剥いたもの」と感動できたり、他者のための自己肯定感に繋がったりすることが育まれる。他には給食室の先生がクラスに出向き、今日の給食の美味しいポイント、工夫したポイントを話す。ここをがんばって作りました、と先生がアピールすると、がんばって食べようとなる。また給食室の先生が、「野菜と油と調味料を混ぜてドレッシングを作ります」と実践し、サラダにドレッシングをかける。それをあなたはどれくらい食べますかという形でサーブしてくれる。実践を生で見ているので、おいしそうと感じられる。子ども食堂では近くの農家さんが野菜をくださる。例えば大根の場合、葉っぱが生えているの知らない子もいる。大根にはこんなに葉っぱがある、葉っぱを炒めたらおいしい、と。子ども食堂の小学生も、最初は野菜嫌いだったが、今中学生になって、肉より野菜にしてというリクエストがある。その旬にあったものを提供している。小学校でもできたら良いと思う。

- コ 【市長】私も園に伺ったことがある。広い園庭があって、子どもたちが隠れたりするよ

うな場所もある。本当に素敵なホーム。子どもたちのために、質の高い保育をしていただいて感じました。生きているものを1歳、2歳の子が育てて、それが身体を作っていく。その年齢から知ることは本当に大切なことだと思う。大根に葉っぱが無いと思っている子もいるだろうし、魚も寿司にのっている形だと思っている子どももいる。小さい子たちは魚の大きさも形も分からない。野菜も、大根に同じサイズくらいの葉っぱがついていることも知らない。子どもたちが知らないのは悲しい。野菜も身体を作っているため、そういうところまで教えていただいているのは、大変ありがたい。子ども食堂も本当に栄養のことを考えてくれている。奉仕の心でやっていただいている、本当に感謝しかないと思って聞いていた。

- サ 地産地消や、給食という作品になるまでのバックの方々の努力や愛を感じた。全部米飯にしてほしいという思いがある。私は料理教室でパンの講師をしていた。その当時はショートニングやバターの代替品としてマーガリンもあった。ショートニングも良いものとして、一生懸命伝えていた。しかし、ある時から姿を消し、グルテンフリーや油脂についてはトランス酸脂肪酸と言われてきた。時代とともに様々なことが分かり、悪になってきた。この歳になると、何を子どもたちに残したら良いかと思うことが多々ある。以前長野県の校長先生で、米飯にしたいという運動をされて米飯にした方がいた。そうすると子どもたちの様子が変わってきた。子どもたちの午後の集中力や元気が増したと聞いた。十数年前の話だったが、私はそれを聞いてスイッチが入った。業者とのせめぎ合いもあるかもしれないが、それであれば米粉を使ってほしいと思う。コスト高もあると思うが、安心安全を考えると、除草剤を使っているカナダ産やアメリカ産のものは避けていただきたい。家庭でも、国産を売りにしているものを選んでくれる方はどれくらいいらっしゃるのかと思う。私の娘もだが、価格の問題で、つつい外国産に手を出している状況がある。油脂の問題もある。腸内環境と言われるが、グルテンが悪さをしていると思う。どうしたら良い時代がくるかと思っている。小麦粉を取ることで睡眠不足になったり、花粉症になったり、片頭痛になったり生理痛になったり、色々な症状が出るのが明らかになってきている。じわじわきていると思う。
- シ 【市長】仰っていることはよくわかる。宝塚市が米飯を増やすとなると、先ほど説明があったように週5日米飯になる。そこに至るまでに、1つの業者を潰す、そこで働いている従業員は職を失う。私たちはそこも考えていけないといけない。整理しながら米飯5日、たまにパンの方向で調整していく。もう少しお待ちいただければと思う。
- ス 僕の友達で時間内に給食を食べられないという子がいる。給食の時間を延ばしてほしい。可能ですか。
- セ 【市長】食べられないおかずが出た時は掃除の時間まで残っていた思い出がある。今はそのようなことはないと思う。人それぞれ食べる時間も違うと思うが、時間を延ばすことは可能か。
- ソ 【管理部長】時々そのようなご意見をいただくことがある。週休2日制が導入されてか

ら、子どもたちが学校にいる時間も限られている。1日にたくさんのことをしてもらわないといけない実態がある。子どもたちが学校にいる総時間の問題もある。下校時間を後ろ倒しにするのも難しい中で、休憩時間も確保しないといけない。そのようなことで、今の時間の配分が決まっている。それでも学校の中で工夫はできると思う。教育委員会から各学校に、配慮した取組をしてほしいと連絡をする。

タ 私は市内の幼稚園で過ごし、その後大阪市内に移った。今農園をしている。自分の土地を見ると異常なことが起きている。玉ねぎを育てているが、畑を耕しても蝶々の幼虫がない。おかしいと思いながら育てている。今年も去年もいなかった。モンシロチョウがおらず害虫もつかない。先ほどミツバチの話をされたが、ミツバチも少ないと思う。実際肌で感じて、なぜかと思う。近所の人に知ってもらいたいという思いで、苗を作って人にあげる。食育と言うが、実際は長い時間かかる。教育とは違うかもしれないが、農業の勉強を一からしないとだめかなと思う。私の幼稚園時代は人間の排泄物も肥料にしていた。私は子どもの時、父親、母親そして祖父母もいたが、多感な頃だったため、挨拶もほとんどしなかった。核家族では家族でどんな話をするのか。小さい時は、非常に偏食があった。戦後の貧しい時代であったが、イチジクは植えられていた。イチジクをたくさん食べたためイチジクが嫌いになった。キュウリもたくさん植えられていたが、キュウリも食べなくなってしまった。では何が好きかというと、お醤油ごはん。それくらい食べ物が無い時代だった。こんな偏食にならないようにしてほしい。そして「歯」。私も団塊の世代なので、朝ご飯を食べずに仕事をしていた。朝ご飯を食べていないと歯を磨くことも忘れる。歯を大切にしていないと40代、50代に歯が抜けていく。歯を磨くという習慣をセットでしないと総入れ歯になってしまう。そういうことにならないようにしてもらえたらと思う。教育は非常に大事であるため、様々な情報があるが、そこを勉強してほしい。

チ 【市長】丁寧な種や苗を作っていたら、それを子どもたちが育てているかもしれない。私も小さい頃ピーマンが嫌いだったが、大人になったら食べられるようになった。子どもの頃は苦いものは毒と認識するらしい。これは食べて大丈夫なものとなっていくにつれ認識していくそう。子どもの偏食で気を付けないといけないのが、アレルギーなのか、偏食なのかを見分けないといけない。「食べなさい」とした時に、その子にとってのアレルギー物質が含まれていたという事例もある。人間も本能で、これを食べてはいけない、と子どもも分かっている。上手に偏食とアレルギーを見分けながら子どもにたくさんの食材を食べてもらえるような食育をしていきたいと思う。

ツ 資料の8ページ。欠食率について。アンケートの質問の仕方は、「毎日朝食を食べていますか」という質問の仕方なのか。中学生で朝食を食べていないのは19.2%と書いてあるが、下に朝食を食べていないのは20人に1人と書いてある。20人に1人であれば、5パーセントになるのでは。目標の2倍以上に増えている。原因と対策について、市はどのように考えているか。また20代から30代への広報とあるが、20代から30代

の人に食育を促すのは難しいと思う。こういった説明をされていく予定か。

テ 【健康推進課】順番前後するが、まず 20 代と 30 代の食育について。食育そのものは、私は死ぬまで食育だと思っている。この計画を発信する上で便宜上分けているが、どの世代も食育は必要。その大前提がある。見え方として、20 代、30 代にどう提言していくかというところに目が行くが、自分がこれまで育ってきた中、お子さんがいる方はこれから次の世代にどのように引継ぎをするかと、投げかけようと思っている。ご指摘のとおり、中学生の 20 人に 1 人であれば 5%ほど。ご指摘の通り。朝食を欠食する人の割合を聞くことは、一番重要な項目だと思っており、そのため一番最初に聞いている。聞き方としては「あなたは朝食を毎日食べていますか。YES or NO」で聞いている。

ト 朝食を欠食している人の原因は？

ナ 【健康推進課】原因については、記述をしてもらっている。「どうしても朝起きるのが遅く、学校に行く時間になってしまうので食べられない」、他には「おなかがすいていない」等。夜食をしたり夜にカップ麺を食べたりしていることがあるかもしれない。記述ではそういうことが原因であると書いていただいている。

ニ 長期休みの前後、長い場合 1 週間程給食が無い日が続く。それを短くしてもらいたい。せっかく学校に行っているのだから、給食を食べて帰ってきてほしい。月の給食日より毎月来るが、学校では給食を食べない日であるにも関わらずメニューが掲載されている日がある。それはどなたが食べているのかと思っている。

ヌ 【管理部長】実は、長期休業の前の給食回数は増やした。以前は、小学校・中学校ともに年間 176 回であったが、小学校年間 180 回、中学校年間 178 回にした。長期休業の前は成績処理等で先生方がどうしても業務が立て込む。給食を実施すると、子どもたちの下校が 1 時か 2 時頃になり、業務ができないという点から、それを解決するために長期休業に入る前は、仕事を集中的に実施する期間として子どもには帰ってもらっている。ただ、この期間についてはなるべく短くしていきたい。様子を見ながら、給食のない日数を減らしたいと思っている。給食だよりの件について。給食だよりは給食が実施できる日を決めており、その中で小学校 180 回と決めている。給食だよりが出ている日の中で 180 回になるため、他の学校で給食が出ているという形で見たい。給食実施する日、実施しない日は学校で決めている。

ネ 長期休み中の育成会で、お金は支払うので、給食を出してほしいという意見がある。きなこあげパンが大好きだが、先生の方だけビニール袋に入っていて、子どもの分は袋に入っていない。神経質な子は手で食べることに抵抗があり、自分の分も袋が欲しいと困っているという子もいる。白衣は学校給食課から提供されているが、アイロンがけが非常に面倒なため、ノンアイロンのものに変えられないかという意見がある。香害の問題もあるので、各自のエプロン持参ではいけないのか。最後に、韓国色の強いメニューが度々出てくるが、何か交流関係があるのか。どういう理由から出されているのか。先日、さわらのチョリムが出たが、チョリムとは何かとなるため「さわらのチョリム（韓国風

煮付け)」と書いていただけるとありがたいという意見があった。

- ノ 【管理部長】育成会の給食については、課題になっている。子ども未来部とも検討していきたい。きなこあげパンについては、小学校低学年の場合、先生と児童のパンのサイズが異なるため、判断できるようビニール袋に入れている。白衣については、今は学校でエプロンを許可している。柔軟剤の臭いが苦手なお子様のためにエプロンを許可しているため、学校に問合せいただきたい。韓国食については、子どもに非常に人気が高い。私も多い気はしていたが、子どもの人気があるということと、野菜も適度に取りれて良いというところがある。「さわらのチョリム」は確かにわかりにくい。解説が書いていないのであれば、入れる方向で検討していく。
- ハ 無償化について。近隣市で行われているが、どうか。私個人は、今丁寧に作られているため、無償を優先するのではなく今のままで素晴らしいと思っている。しかし、生活で本当に困っている方は無償になっていけば良いと思う。現状と思いを聞きたい。
- ヒ 【管理部長】無償化については国が検討しているため、その動向は見ておかないといけない。宝塚市は自校調理方式なので相当経費がかかっている。伊丹市では食材以外 300 円程度だが、宝塚市では 500 円から 600 円かかっている。1 食当たり高い給食になっている。今の給食費についてはご負担いただきたいが、国には働きかけをしていきたい。支払いが困難な方については就学援助や生活保護といった支援があり、そこから全額支出されている。
- フ 色々好き嫌いがある人がいると思う。学校でアンケートを取って、一番好きというものをランキング形式にして、それを多く出してもらえたら嬉しい。
- ヘ 【市長】そのランキングを実施したら、1 位がイチゴ、2 位がバナナ、3 位が桃になるのでは。みんな大好きなものになる。私も良いと思うが、給食はバランスよく栄養を取る大事な役目があるため、好きではないかとも思っても、体のためにみんなで楽しく食べてほしい。
- ホ 正しい食育のために、先生からも給食費を徴収するべきではないか。
- マ 【市長】先生からも徴収している。
- ミ 給食が 1 年全体の食事の回数の 6 分の 1 の役割と聞いて、その中で栄養を考えてくださっている。先ほど、パンはあんまりで減らした方がいいのではという話があったが、私は年間の食事回数の 6 分の 1 程度なのであれば、そこまで躍起にならなくても良いのではと思う。パンが好きな子もいるし、ご飯が好きな子もいる。色々なものをバランスよく食べさせてくれる今の給食は本当にありがたいと思う。
- ム 【市長】空っぽ大作戦や、調理員は本当に子どものことを思って作っている。このようなお声を伝えたら本当に喜ぶと思う。
- メ 給食でサラダが出ない日があるが、野菜が好きであるため、もう少しサラダの回数を増やしてほしい。
- モ 【市長】野菜が好きという言葉が出るなんて、素晴らしい。サラダ、野菜は体を作るた

めに大切なため、バランスよくサラダを食べていけるようにやっていこうと思う。

3 閉会

(1) 市長挨拶

本日は本当に貴重なご意見をたくさんいただき感謝している。子どもたちの体を作る給食、そして子どもたちが食の喜び、楽しみを知ってもらう給食を大切に考えている。これからも皆様の意見を踏まえて、子どもたちにとって良かったと思える給食を実施していこうと思う。この物価高騰の中、昨年、今年、来年と、本来であればいただいている給食費では今の食のレベルを維持することは難しくなっているが、宝塚市としては給食を食べている方に負担を求めず、市の財源を上乗せして、給食のレベルを維持しようとしている。なかなか、簡単なことではないが、私と学校給食課で話をし、子どもたちに少しでも良いものを食べてもらいたいという思いからそのようにした。これからも宝塚市の給食を愛してもらえるように努力する。

(2) 事務連絡（アンケートの協力依頼）

以上